

国 語

(中学校第 2 学年)

注 意

- 「始め」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下の欄^{らん}に、組、出席番号、名前を書きなさい。
- 「始め」の合図があったら、別に配られている解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」から始めなさい。
- 問題用紙は、全部で 1 0 ページあります。
「A問題（基本）」は、6 ページで、問題は まであります。
「B問題（活用）」は、4 ページで、問題は です。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が 2 5 分、「B問題」が 2 0 分です。
時間に気をつけて解きなさい。
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きなさい。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。
問題の内容などの質問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	一 二 三 四 五	2 5 分
B問題（活用）	一	2 0 分
合 計		4 5 分

2 年	組	番	名前
-----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一は、勇平に向かつて、しようがないよなというふうに笑ってみせた。本当は笑うどころではなかった。女の子たちのように、両手で耳を覆い、机の下にしゃがみ込みたかった。家で一人できななら、布団にくるまって震えていただろう。それくらい、雷は苦手なのだ。

でも、ここは教室だ。直人や勇平たちの前でみつともなく、騒ぐことも、しゃがみ込むこともできない。そんなことをしたら、藤城一のイメージが台無しになってしまう。

一は震えだしそうな足に力をこめて、必死に恐怖をこらえていた。「いいか、一。おまえの名前はなんでも一番になれという意味で父さんがつけたんだぞ。おまえなら、名前負けしないで、勉強でもスポーツでも一番になれるからな。」

父親の言葉どおり、一は勉強でも、スポーツでも、いつも一番だった。百メートル走と平泳ぎでは、小学生の部で県の記録を持っているし、学校の成績だけでなく、通っている塾でもずっとトップクラスだ。だからといって、いばっているわけでもないし、自慢をするわけでもない。

頭がよくて、①性格もよくて、スポーツが得意で……一は、みんなからそう思われ、ほめられ、認められてきた。一なりに、がんばってもきた。ヒーローといえばおかげさだけど、一は神谷小学校六年生の誰よりも、目立つ存在なのだ。その一が、雷が苦手で、②雷鳴を聞いたときに泣きそうになるなんて、絶対に知られてはならない。

一は唇をかみ、心の中で、一秒でも早く雷が遠ざかりますようにと祈っていた。

(あさのあつこ「夏を見上げて。」より)

問一 文章中の□に入る言葉として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 足をとられ
- イ 口をそろえ
- ウ 肩をすくめ
- エ 手をぬいて

問二 文章中に――線①「性格もよく」とありますが、一の性格のよさは、どんなところから分かりますか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 雷が苦手でどうしようもないのに、勉強やスポーツをがんばっているところ。
- イ 勉強でもスポーツでも一番なのに、みんなから認められようとしているところ。
- ウ 雷が苦手でどうしようもないのに、こわさを必死でがまんできているところ。
- エ 勉強でもスポーツでも一番なのに、いばったり自慢したりしないところ。

問三 文章中に――線②「雷鳴を聞いたときに泣きそうになるなんて、絶対に知られてはならない。」とありますが、それはなぜですか。解答用紙の「だから。」につながるように、文章中から十字で抜き出して書きなさい。

絶対に知られてはならない。」とありますが、それはなぜですか。解答用紙の「だから。」につながるように、文章中から十字で抜き出して書きなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今から約七千五百年前に中国で始まった水田での稲作は、朝鮮半島を経て紀元前七百年から六百五十年頃、日本に渡ってきたと考えられています。水田は初め、河川の流域や湖・沼の周辺、盆地、海岸のデルタ地帯など、水が豊富に得られる場所に作られました。土地が不足してくると、棚田のように山の斜面にも作られるようになります。□、水田はブルのように水をただため込んでいるだけで、砂場のようにただしみ込ませているだけでもないのです。いったい、水田はどのように作られているのでしょうか。

水田は周囲をあぜで囲み、深さが等しくなるように上面を水平に整地して水を張り、その中に稲を植え込んで作られます。□、ただ土を掘り下げただけでは、水が地下へとしみ込んでしまうので、そこにはさまざまな工夫が凝らされています。

水田を縦に切ってみると、水の下は土壌は上から順に、作土層、鋤床層、心土に分けられます。作土層は稲が根を張る部分で、厚さは十センチメートルから十五センチメートルほどあります。作土層は酸化層と還元層という二つの層に分かれていて、ここで栄養分になる有機物の酸化分解と還元が行われます。その下の鋤床層は、土をつき固めて作られた水を通しにくい層で、ここに水をためるとともに、農作業をする人や農機具が土の中に潜らないようにします。土壌の底部には土を緊密に固めて作った心土があり、ここからはゆっくりとしか水もれは起きないようになっています。

(岡崎稔「水田のしくみを探る」より)

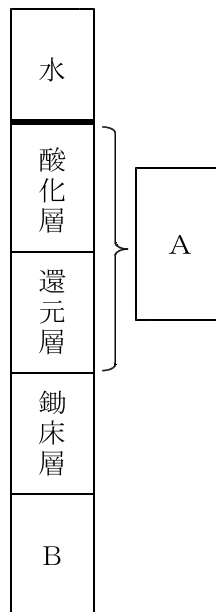
- ※ デルタ地帯：枝分かれした二つの河川と海で囲まれた、三角形に近い形をしている地形。
- ※ 棚田：けい斜度が二〇分の一以上の土地に階段状につくられた田。
- ※ 酸化：ある物質が、酸素と結び付くこと。
- ※ 還元：酸化した物質から酸素を除いて、もとの状態にもどすこと。

問一 文章中の□に共通して入る言葉として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし
- イ だから
- ウ または
- エ すなわち

問二 この文章で問題提起となっている一文を文章中から探し、初めの四字を抜き出して書きなさい。

問三 左の図は、水田を縦に切ったときの、水の下は土壌を上から順に表しています。□Aと□Bに当てはまる名称と、その働きについてまとめたものとして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



- ア Aは心土で、水をゆっくりとしかもらさない。Bは作土層で、有機物の酸化分解と還元を行う。
- イ Aは心土で、有機物の酸化分解と還元を行う。Bは作土層で、水をゆっくりとしかもらさない。
- ウ Aは作土層で、水をゆっくりとしかもらさない。Bは心土で、有機物の酸化分解と還元を行う。
- エ Aは作土層で、有機物の酸化分解と還元を行う。Bは心土で、水をゆっくりとしかもらさない。

三

西村さんの学級では、国語の授業で、「大切にしたいこと」というテーマで文章を書いていきます。

次は、『西村さんが書いた下書き』です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

【西村さんが書いた下書き】

私が大切にしたいこと、それは「笑顔を絶やさない」ということです。

私には祖母がいます。その祖母が、三か月ほど病気で入院したことがあります。私がお見舞いに行ったあるとき、担当の看護師さんが優しく笑顔で祖母に語りかけていました。私は、その様子が今でもしっかりと目に焼きついていきます。

祖母のお見舞いを終えて病院を後にするとき、祖母からこんなことを言いました。

「おばあちゃんは、看護師さんの笑顔でこんなに元気になったんだよ。ゆきちゃんも、これからつらいことなど経験するだろうけど、そんなときこそ笑顔を忘れないでいてね。」

私は祖母のこの言葉が、強く耳に残りました。これまでの私は、自分にとっていやなことがあると、すぐに表情に出していました。笑顔の自分を出していなかったような気がします。このことから私は、「笑顔を絶やさない」ということを大切にしたいです。

問一

下書きを読み直した西村さんは、――線「祖母からこんなことを言いました」の部分の「祖母から」と「言いました」との言葉の関係が不適切なことに気付きました。「言いました」の部分を、六字以内で適切に書き直しなさい。

問二

文章を書くに当たって、西村さんが工夫していることがあります。西村さんの工夫点について説明したものととして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 書き手の考えを支えるために、数値を用いた具体的な事例をたくさん紹介している。

イ 書き手の考えを読み手に理解してもらうために、順序を表す言葉を効果的に使っている。

ウ 書き手の考えを読み手に明確に伝えるために、先に結論を述べてから論を展開している。

エ 書き手の考えにより説得力をもたせるために、会話を引用したりしている。

四

広報委員会の谷上さんは、県大会への初出場を決めた野球部にインタビューをし、それをもとに学校新聞の記事を書くことにしました。

次は、谷上さんが野球部のキャプテン（林田君）に行った「インタビューの記録の一部」です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

【インタビューの記録の一部】

谷上 県大会初出場ですね。おめでとうございます。今の気持ちはどうですか。

林田 とてもうれしいです。去年は、もう少しのところで負けてしまい県大会に出られなかったので、今年こそはと思っています。良かったです。

谷上 これまでの試合で一番苦しかったのは、どの試合ですか。

林田 地区大会の準決勝です。相手は、去年の優勝校でした。

延長戦の末、一点差で勝ちました。

谷上 延長戦では、どのようにして得点したのですか。

林田 ツーアウト、ランナー一塁からの二塁打です。一塁ランナーの一生懸命な走りで、見事にホームベースを踏むことができました。

谷上 足の速さを生かしたんですね。

林田 そうです。練習の成果が出ました。

谷上 それでは、

林田 まずは、初戦を突破することです。頑張ります。

問一

【インタビューの記録の一部】に――線「延長戦では、どのようにして得点したのですか。」とありますが、谷上さんが、この質問をした意図として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手の発言の問題点を指摘して、理解をより確かにしようとした。

イ 相手の発言を受けて、そこから具体的な話を聞き出そうとした。

ウ 相手の発言を確かめて、興味深そうな別の話題に移ろうとした。

エ 相手の発言の内容をまとめて、他との相違点を捉えようとした。

問二

の部分で、谷上さんは、どのような質問をしたと考えられますか。質問の内容を考え、二十字以内で書きなさい。

【五】 次の問いに答えなさい。

問一 次の(1)、(2)の――線の漢字の読みがなを、書きなさい。

(1) 沈黙が続いた。

(2) 鮮やかな色の花が咲いた。

問二 次の(1)、(2)の――線のひらがなを、漢字に直して書きなさい。必要なものには、送りがなをつけなさい。

(1) 青島をはいけいに写真をとる。

(2) 山々が赤くそまる。

問三 漢和辞典で「平」という漢字の意味を調べると、次のように出ていました。後の語句「平易」に使われている「平」の意味として、最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

【漢和辞典】

ア でこぼこがなく、たいら。 イ おだやか。しずか。

「平」 ウ あつみがなくて広い。 エ わかりやすい。

オ みんな同じでちがいがいない。

平易

問四 次の――線の言葉と同じ意味で「起こす」が用いられている

ものとして、最も適当なものを、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

行動を起こす。

ア 弟を起こす。

イ 事業を起こす。

ウ 倒れた木を起こす。

エ 畑を起こす。

問五 次の――線部の主語を、一文節で抜き出しなさい。

僕はしばしの間、子供だけが感じることできる、あの何とも
言えぬ、^{むさぼ}食るような、うっとりした感じに襲われる。

(ヘルマン・ヘッセ ^{たかはしけんじ}高橋健二 訳「少年の日の思い出」より)

問六 次の――線部を、現代仮名遣いに直して書きなさい。

あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光たり。それを見れば、
三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

(「竹取物語」より)

問七 次の□に当てはまる故事成語として、最も適当なものを、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

この文章の最後の一行は□なので、削除したほうがよいと思う。

- ア 推敲^{こく} イ 背水の陣 ウ 四面楚歌^そ エ 蛇足^だ

問八 次は「栄光」という文字を、楷書^{かい}と行書のそれぞれの書体で書いたものです。この二つの書体で書いた「栄光」の文字を比較し説明したものとして、最も適当なものを、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

【楷書】

栄光

【行書】

栄光

- ア 楷書に比べて行書は、点画に丸みが出るとともに、点画の連続や変化がみられる。
イ 楷書に比べて行書は、点画に丸みが出るとともに、点画の連続や筆順の変化がみられる。
ウ 行書に比べて楷書は、読みやすく整った文字にして書くことができるとともに、点画の連続や変化がみられる。
エ 行書に比べて楷書は、読みやすく整った文字にして書くことができるとともに、点画の連続や筆順の変化がみられる。

次のページにB問題があります。

B 問題

(二十分)

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

生徒会役員の上原君たちは、来年度、中学校に新しく入学してくる小学校六年生に向けて、先輩からのアドバイス集を作り、一体験入学で配付することにしました。

次は、上原君たちが行ったアンケートの結果と、それをもとにした話し合いの様子です。

●アンケートの結果

中学校生活に関するアンケートの結果

- アンケートの実施日 平成29年1月17日(火)
○ 対象者 新入学予定者 63名

1 中学校生活で楽しみなことと不安なこと

楽しみなこと

- ◆ 部活動 24名
- ◆ 学校行事 20名
- ◆ 友達づくり 15名
- ◆ 学習面 3名
- ◆ その他 1名

不安なこと

- ◆ 学習面 44名
- ◆ 友達づくり 9名
- ◆ 先輩との関係 5名
- ◆ 部活動 3名
- ◆ その他 2名

2 中学生に質問したいこと(主なもの)

- 中間テストなどのテスト勉強はどうやってすればよいのか。
- 苦手な教科はどうやって勉強すればよいのか。
- 先輩に対してどのように接すればよいのか。
- 勉強と部活動のどちらも頑張りたいが、どうすればよいのか。
- 新しい友達をたくさんつくりたいが、そのためにはどうすればよいのか。
- 集中して勉強するにはどうすればよいのか。

●話し合いの様子(一部)

上原

これは、来年度入学予定の、小学校六年生を対象に実施したアンケートの結果です。この結果をもとに、アドバイス集にのせる内容を考えていきます。何か意見はありませんか。

松本

このアンケートの結果を見ると、Aということが分かります。だから、学習面について、アドバイスしたらどうでしょうか。

上原

なるほど。では、何についてアドバイスをすればいいと思いますか。

西川

アンケートの結果には、六年生が私たちに質問したいこと的主なものがあるとあります。それを参考に学習面について、具体的なアドバイスの内容を考えてはどうでしょうか。

本田

賛成です。そうすると、Bのこと、先輩との関係のことや、部活動のことについては、今回のアドバイス集にはのせないことになりそうです。

松本

そうですね。それと、配付するアドバイス集は、問い(Q)と答え(A)の形式にしたらどうですか。問い(Q)を、六年生が私たちに質問したい学習面での不安、答え(A)を、それに対する私たちからのアドバイス、として作成すればいいと思います。問いは、アンケートの結果にある中学生に質問したいことの中から考えましょうか。

上原

それはいいですね。それでは、出た意見を整理します。アドバイスの内容は、小学生が学習面に関して不安に思っていること、示し方は、問いと答えの形式にするということです。それでいいですか。

話し合いを終えた上原君たちは、話し合いの中で出された意見をふまえてアドバイス集を作ることになりました。

次は、上原君たちが作ったアドバイス集です。

ようこそ〇〇中学校へ

～6年生のみなさんの不安を解消します～

〇〇中学校生徒会では、6年生のみなさんがいっている中学校生活への不安を、少しでも解消するため、アドバイス集を作りました。私たちからのアドバイスを参考にし、4月から始まる中学校での新しい生活に生かしてもらえると嬉しいです。

〈学習面について〉

Q 1 中間テストなどのテスト勉強のやり方を教えてください。

A 1 テスト前に配付される範囲表をしっかりと確認します。この範囲表には、出題のポイントが示されているため、何に重点を置いて勉強すればよいのかが分かります。この範囲表をもとに計画を早めに立て、各教科をバランスよく勉強するようにしましょう。

Q 2 C

A 2 自分にもできそうな簡単な内容から取り組んでいきます。簡単であるため、学習への達成感が得られやすくなります。こうして得られた達成感をバネに学習への自信をつけ、少しずつ難しい内容にもチャレンジしていきましょう。

Q 3 集中して勉強するにはどうすればよいか教えてください。

A 3 D

問一 話し合いの様子の A には、アンケートの結果から読み取れる内容が入ります。入る内容として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 中学校生活への不安がある六年生は多く、勉強と部活動の両立を一番不安に思っている

イ 中学校生活への不安がある六年生は少なく、新しい教科の学習を一番楽しみにしている

ウ 六年生の約七十パーセントの人が、学習面に関することを不安に思っている

エ 六年生の約七十パーセントの人が、学習面に関することを楽しみにしている

問二 話し合いの様子の B に入る言葉を、アンケートの結果の中から五字以内で抜き出して書きなさい。

問三 話し合いの様子の中で、上原君が果たしている役割として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 発言者の意見を確認し、提案のよさを具体的に評価している。

イ 話し合いの話題を示すとともに、出された意見をまとめている。

ウ 発言者の意見を比較し、個々の意見の問題点を指摘している。

問四 アドバイス集の C に入る問いの内容を、アンケートの結果の中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

次のページに問題 一 の続きがあります。

問五 上原君は、アドバイス集の **D** に入る内容を考えるために、次の二つの材料を準備し、どちらかを使って、六年生へのアドバイスを書くことにしました。あなたなら、どちらの材料を選んで、どのような書きますか。選んだ材料を番号で答え、後の（条件）に従って書きなさい。なお、材料は、どちらを選んでもかまいません。

【①】高校に進学した先輩から聞いた話をもとに上原君がまとめたもの

集中力を高めるためには、机の上やまわりをきれいに片づけることが大事だと聞いた。机の上に勉強と関係のない物が置いてあったり、机のまわりが整理されていなかったりすると、気が散って、勉強に集中できなくなるそうだ。しかし、身のまわりがスッキリと片づくことで、余計なことに関心が向かなくなり、集中力が高まるという。

【②】集中力について書かれた本の内容をもとに上原君がまとめたもの

集中力を増すためのポイントとして、勉強できる時間を制限することが大事だと書いてあった。勉強時間に制限がないと、いつまでも勉強できるから安心だと思い、かえってダラダラとした時間を過ごしてしまうらしい。しかし、勉強時間に制限を設けることで、限られた時間を意識して使うようになり、集中力が増すという。

（条件）

- ・アドバイス集に書いてある **A 1**、**A 2**の書き方をふまえること。
- ・アドバイスの最後は、六年生に対する具体的な呼びかけで終わるようにすること。
- ・八十字以上、百字以内で書くこと。